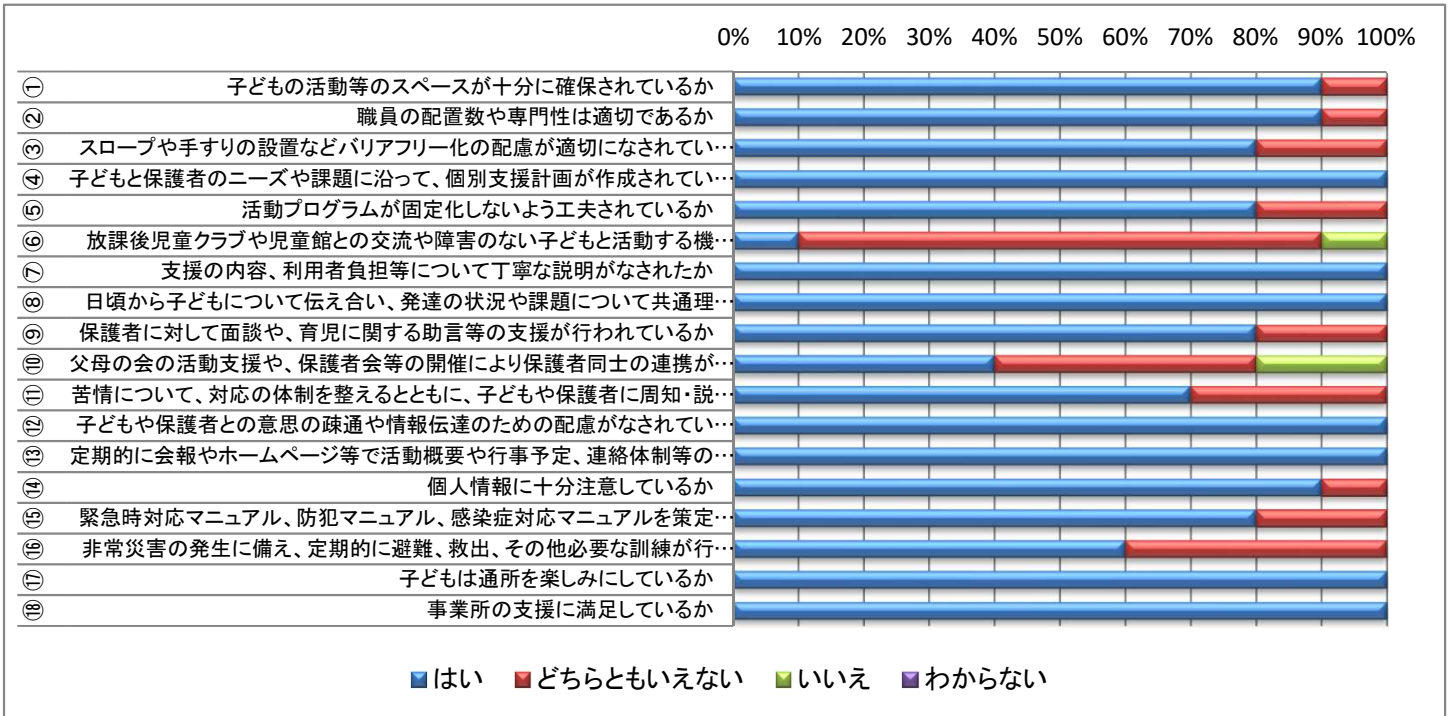


# 平成30年度 放課後等デイサービス 自己評価結果

一般社団法人ハンズハンズ 未来育デイ

## ①保護者アンケート結果



### \*ご意見・ご要望

- ・サービス評価表の②と関連していますが、「職員紹介!」のようなポスター形式で(あるいは書面で)写真付きの一覧とか掲示してもらえると、お名前や専門性、担当などがわかっていいかなと思います。
- ・いつもいつも、細かい所まで気にかけて下さり、本当に日々の成長を感じられ、感謝ばかりです。できなかったことが、繰り返しの練習で、できるようになる喜びは、本人にとって、すごく大切な体験です。毎日、楽しそうに行っている姿を見るのもうれしいです。畑などは、家ではできないのでうれしい活動です。
- ・あくしゅの会に参加しました。すごくわかりやすく、地域の方との交流もあり、子供達の活動にもふれ、楽しかったです。こういう機会がまたあると良いなと思います。
- ・外部の子供達との交流はありますか?長期休みの時は児童館や公園などのお出かけもあるといいですね。
- ・いつも楽しそうなプログラムばかりで羨ましくなります。いろいろと成長に沿って支援を考えていただいていると感じています。今後もよろしくお願いします。
- ・週1のデイサービスですが、長く通っているので〇〇のことをよく理解していただいております。安心して通わせていただいております。私たちも未来育さんの活動から学ぶことも多く、子どもも通所を楽しみにしており、心から感謝しております。学校でつらい事があると、親とは、また別の先生や友達に話を聞いてもらえており、なくてはならない存在にないでおります。今後ともよろしくお願いいたします。

### 【アンケート結果のまとめ】

#### ○評価が高かった項目(基準:回答「はい」が90%以上)

- |                       |                        |
|-----------------------|------------------------|
| ①活動スペースの確保            | ②職員配置と専門性              |
| ④ニーズや課題に沿った個別支援計画書の作成 | ⑦保護者への丁寧な説明            |
| ⑧保護者との共通理解            | ⑫子どもや保護者との意思疎通・情報伝達の配慮 |
| ⑬活動内容や自己評価の発信         | ⑭個人情報への配慮              |
| ⑰子供が通所を楽しみにしている       | ⑱事業所の支援に対する満足度         |

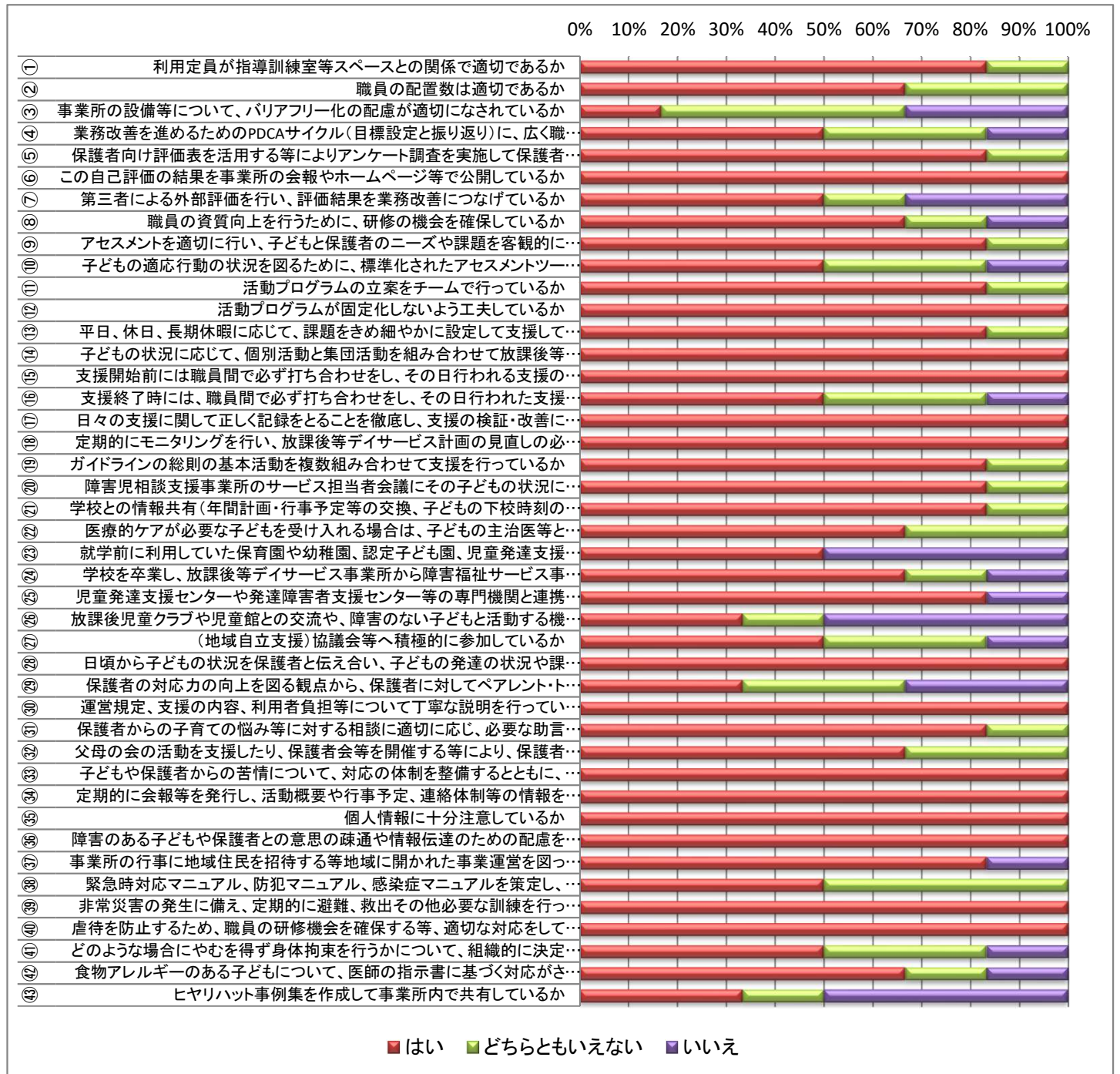
→日頃から保護者の皆さんと情報共有を行い、ともに支援するという姿勢が評価をしていただいた。モニタリングでも、意見を出し合うことで一人ひとりのニーズや課題に沿った支援計画を立てることができた。職員配置や専門性や情報発信については昨年度より高い評価をいただいた。今後も、個々の目指す姿に向かってよりよい発達支援を保護者の皆さんと展開していきたいです。

#### △評価が低かった項目(基準:回答「はい」が70%以下)

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| ⑥地域の子供との交流      | ⑩保護者同士の連携支援    |
| ⑪苦情対応についての周知と対応 | ⑯非常時の訓練についての周知 |

→⑥については、交流の機会となるような活動を計画して行っていきたい。⑩については、6月に家族と地域の方を対象にして交流会「あくしゅの会」を実施した。来年度も継続して開催し交流の場としていきたい。また、就労されている保護者が多いため、参加しやすい活動も計画して行っていきたい。⑪については、契約時にご説明しておりますが、改めて通信などでお伝えしていけたらと思います。⑯については、定期的に訓練等を行っているが、十分にお知らせできていませんでした。今後は通信やお手紙等で詳しくお伝えまいります。

## ②職員による自己評価



### 【結果の分析】

#### △課題

- ・バリアフリー化へ向けた施設設備。
- ・第3者による意見や研修の機会、その日の支援の振り返りなど、業務改善についての手立てが不十分。
- ・関係諸機関との連携(幼稚園、保育園、地域の児童関連施設、地域住民等)。
- ・ペアレントトレーニングや子育て支援の機会を設けていない。
- ・身体拘束やヒヤリハットについての周知ができていない。
- ・災害時や緊急時の対応方法についての利用者や保護者への周知が不十分。

#### ○成果

- ・自己評価の公表。
- ・活動内容の工夫、利用者に応じた個別の支援、支援に対する職員の共通理解等、直接支援の充実。
- ・保護者との日頃からの連携。
- ・定期的なモニタリングの実施。
- ・虐待防止や災害時の訓練や研修の実施。
- ・個人情報の扱い。
- ・通信やブログでの活動広報活動。

### ③事業所全体による自己評価

総評:昨年度より全体的に評価が高くなっている。ただ、改善すべき点が昨年と変わっていないところが課題。  
改善目標を明確化し、実行できるように努めていく。

#### 改善目標とその具体的方法

##### ・保護者同士の連携

⇒今年度もあくしゅの会を実施し、保護者同士で関わり合うことの出来る場を提供する

●ハンズハンズの活動内容、体験、人員配置や設備の面などを伝える場

●昨年に引き続き、地域の民生委員さんにも声をかけ地域の方にもハンズハンズを知ってもらう場とする

●保護者からの質問、要望を聞く場

●保護者、地域の方、スタッフ(理事含)との交流の場

##### ・非常時訓練について

⇒月に1度【防災の日】を設け、訓練や学習支援を行う。

●【防災の日】には、訓練の大切さ、実際に起きた災害について学習をしていく

●HPや連絡ノートを通じて活動内容を周知させていく

##### ・苦情対応

⇒契約時の説明のみだったのでHPや通信でも案内していく

●保護者の要望に寄り添った支援が出来るように努める

##### ・地域の子どもたちとの交流

⇒長期休暇等を利用し、地域の子どもたちと関わる事が出来る機会を提供する

●公園や図書館に出かけたり、様々な事業所への見学を通じて交流や学習の場を設ける